

## お医者さんの再現あそび

H31.1. 21(月)

「赤ちゃんがしんどいの!」「病院に行かないと!」と赤ちゃんの人形を抱っこし、病院に連れて行くまねっこ遊びをしている子がいました。すると、「どうしたの?」「お注射しますよ」と、お医者さんになる子どもも出てきました。「ここを病院にする?」と保育者が患者さん用とお医者さん用の椅子を並べると、それを他の子どもたちが見て、待合室の椅子も並べ始め、座って待っています。少しずつルール性が分かり始めたようです。



「どこが痛いですか?」  
手作り遊具を聴診器に見立てて、  
ポンポンと見てあげています。

「背中も見せて下さい」  
「もう大丈夫だよ」



「次の人どうぞ」「どうしましたか?」  
「お腹が痛いの」

「お腹ポンポンするね」

子ども自身が患者になったり、お母さんになって、人形を連れて診察を受けたりしています。お家の方と一緒に病院に行った記憶や、これまで保育者が入って遊んできた言葉などを覚え、友だちと一緒に、簡単ではありますが、お医者さんのイメージを共有しながら遊べるようになってきました。気が付くと、部屋にいた子どもたち全員が、遊びに参加し、保育者は子どもたちのやりとりを見守りながら、とても嬉しく感じました。これからも、どんなごっこ遊びが始まるか楽しみです。